

平成28年度



たいさんぼく

学校だより10月号

小平市立小平第十三小学校

小平市小川西町 1-22-1

TEL 042-342-1762

<http://www.kodaira.ed.jp/13kodaira/>

「努力は夢中に勝てない」

副校長 柴田 英文

天候の悪化を心配し一日延期となった運動会でしたが、多くの保護者・地域の皆様のご声援・ご協力を得て無事故・大成功で終えることができました。ありがとうございました。

本校の「裸足の運動会」は今年で9回目を数えました。今では児童も教職員も特に意識せずに行っているスタイルですが、大変に特色のある運動会だと思っています。

芝の感触を味わいながら全身をダイナミックに動かして、走ったり跳び跳ねたり転がったりして演技や競技を行うことは、児童の体力向上に大きく役立っていると感じています。

また、小学生時代の一日を裸足でカー杯活動した記憶は、心象風景として心の中に確実に残ることでしょう。このスタイルを経験した先輩たちも、そろそろ二十歳を迎えています。心の育成の上でも、大人になったときに母校を懐かしく思い返してくれるひとつに「裸足の運動会」がなればうれしく思います。

さて、今年のスローガンは「緑の舞台で運動会 みんなの笑顔が金メダル」でした。お子さんは笑顔という「金メダル」を運動会の中で何個も取ってくれたことでしょう。

いただいたアンケートにも「一生懸命に頑張っている姿に感動した」「多くの子が笑顔で楽しみながら真剣だった」等の評価をいただきました。子どもが夢中になっている姿を見ることは、保護者にとっても教師にとっても本当に幸せなことだと感じました。

元陸上選手の為末大さんは、自分自身の経験から義務感に駆られているときより、自分が楽しく夢中でやっているとときのほうが成長の度合いが高いことに気付き「努力は夢中に勝てない」と言っています。2001年に陸上世界選手権で銅メダルを獲得した為末さんですが、その後、努力を重ねても記録が伸びずスランプに陥った時期に、自身を振り返る中でこの心境に至ったとのこと。

本校の目指す学校像『子どもたちの「笑顔」と「夢」があふれる学校』に通じる内容を感じます。何かに夢中になる子の成長は、大人や教師の力も及ばないエネルギーをもっています。運動会で得た経験を後半の教育活動に生かしながら、更に子どもたちを育ててまいります。

本年度も後半に入ります。まずは読書活動の充実のため読書月間を4日から設定し、朝読書や期間限定読書記録カード、教師の推薦図書コーナー、読書感想カードをクラスから推薦する取組、図書委員による読み聞かせ、クイズ集会等を行います。夢中になって本を読む習慣を育ててまいります。

また、22日（土）からは学校公開週間が始まります。保護者の皆様、地域の皆様のご来校・ご参観を心よりお待ちしております。

